

## 確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会をつくる ～人が集い活力あふれる千曲地域を目指して～

### 1 持続可能で安定した暮らしを守る

#### (1) 災害に強い県づくりの推進

##### ○道路防災事業

- ▶ (一) 聖高原千曲線 千曲市 城山

##### ○道路改築事業

- ▶ (主) 坂城インター線 坂城町 中之条～網掛 . . . . . ①
- ▶ (一) 内川姨捨停車場線 千曲市 内川 . . . . . ②

##### ○河川施設機能向上事業

- ▶ (一) 沢山川 千曲市 雨宮 . . . . . ③
- ▶ (一) 雄沢川 千曲市 羽尾

##### ○砂防事業

- ▶ (砂) 普携寺沢 千曲市 城腰 . . . . . ④
- ▶ (砂) 名沢川 坂城町 戌久保 . . . . . ⑤

##### ○急傾斜地崩壊対策事業

- ▶ (急) 妻女台 千曲市 土口 . . . . . ⑥

#### (2) 社会的なインフラの維持・発展

##### ○橋梁補修事業

- ▶ (一) 上室賀坂城停車場線 坂城町 田町跨線橋 . . . . . ⑦
- ▶ (一) 聖高原千曲線 千曲市 万葉橋

##### ○トンネル補修事業

- ▶ (主) 大町麻績インター千曲線 千曲市 坂上トンネル

##### ○舗装修繕事業

- ▶ (主) 長野上田線 千曲市～坂城町 稻荷山～小網

##### ○砂防施設更新事業

- ▶ (砂) 谷川 坂城町 南条 . . . . . ⑧

#### (3) 県民生活の安全確保

##### ○街路事業

- ▶ (都) 若宮線 千曲市 若宮 . . . . . ⑨

### 2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

#### (1) 地域の建設業等における担い手の確保の推進

- 現場見学会などによる建設産業・公共事業に対する理解促進
- ジョブキッズ信州などによる小中学生及び保護者へのPR

#### (2) 建設産業の振興

- ICT活用工事やBIM/CIM等の新技術活用による生産性の向上
- 週休2日制や女性技術者に配慮した現場の確保など労働環境の改善

### 3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

#### (1) 地域の特徴と自然の恵みを生かした

##### 快適で魅力ある空間づくりの推進

- 地元や関係団体との協働によるまちづくり検討
- ▶ (都) 戸倉上山田線 千曲市 上山田

#### (2) 世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

- 自転車通行空間の整備
- ▶ (一) 内川姨捨停車場線 千曲市 冠着橋

### 4 地域戦略推進型公共事業

#### (1) 地域の課題を「連携」と「協働」で解決

- さらしなの里、戸倉上山田温泉をめぐる 賑わいのあるまちづくり  
～自転車道を核として～
- ▶ (一) 内川姨捨停車場線 千曲市 長尾根 . . . . . ⑩
- ▶ (一) 内川姨捨停車場線 千曲市 姨捨
- ▶ (都) 戸倉上山田線 千曲市 上山田 (再掲)
- ▶ (一) 内川姨捨停車場線 千曲市 冠着橋 (再掲)



# 令和6年度 千曲建設事務所 主要事業 概要

## ① 道路改築事業（主）坂城インター線

坂城町 中之条～網掛

事業費：60.0億円 工種：道路築造工L=900m

（うち橋梁L=447m）

当路線は、上信越自動車道坂城ICと国道18号を直結する主要な路線であり、国の重要物流道路及び県の緊急輸送路にも指定されています。国が千曲川左岸で建設を進めている国道18号坂城更埴バイパスまで延伸整備することで、物流拠点である工業団地へのアクセスルート構築、交通混雑の緩和及び観光産業の活性化に寄与します。



## ② 道路改築事業（一）内川姨捨停車場線 千曲市 内川

事業費：8.0億円 工種：道路拡幅工L=430m

当路線は、しなの鉄道千曲駅や姨捨SICといった交通拠点を連絡する幹線道路で、五和小学校の通学路となっていますが、当該区間は幅員が狭く、屈曲したカーブにより見通しも悪く、歩道もないため大変危険な状況にあります。

このため、道路拡幅により、通学路の安全と円滑な道路交通の確保を行います。



## ③ 河川施設機能向上事業（一）沢山川 千曲市 雨宮

事業費：4.9億円 工種：堤防法尻補強工L=840m

当該区間は、堤防決壊した場合、東小学校、東部体育管及び土口公民館等の指定緊急避難所や周辺住居655戸の浸水被害が発生する恐れがあります。

このため危機管理型ハード対策として、越水しても堤体の侵食を遅らせる効果のある堤防法尻補強工を実施し、堤防の強靱化をはかります。



## ④ 砂防事業（砂）普携寺沢 千曲市 城腰

事業費：4.0億円 工種：堰堤工1基、渓流保全工

流域は浸食が進み、無林地及び倒木も見られ、対策施設もないことから、今後の降雨による土石流の発生が懸念されるため、住民の生命・財産（人家、老人福祉施設、公民館（避難所）、県道等）を守る砂防堰堤や渓流保全工の整備を行います。



## ⑤ 砂防事業（砂）名沢川 坂城町 成久保

事業費：6.3億円 工種：堰堤工2基

下流域には人家377戸、学校（避難所）、老人福祉施設、幼稚園、公民館（避難所）、国道18号、市道などの施設が多数存在していますが、上流域は荒廃が進み不安定な土砂が堆積し、土石流の発生のおそれが高いため、砂防堰堤の整備を行います。

堰堤3基のうち1基は令和3年度までに完成し、令和4年度から残る2基の整備を行っています。



## ⑥ 急傾斜地崩壊対策事業（急）妻女台 千曲市 土口

事業費：4.1億円 工種：崩壊土砂防止柵工L=190m

当該地区は、がけ高さ27～43m、勾配33～37°の急斜面で、保全対象として人家24戸などを含む急傾斜地となっています。

対象斜面は侵食も進み不安定となっていることから崩壊や落石による危険性が高いため、早急に対策を実施し人家等の保全を図ります。



## ⑦ 橋梁補修事業（一）上室賀坂城停車場線

坂城町 田町跨線橋

事業費：2.6億円 工種：橋梁補修工L=154.5m

しなの鉄道線を渡る田町跨線橋（昭和47年完成）は供用から約50年が経過し、老朽化による上部工・下部工のひび割れや高欄の腐食等が著しいため、長寿命化修繕計画に基づき橋梁補修工事を行います。



## ⑧ 砂防施設更新事業（砂）谷川 坂城町 南条

事業費：5.4億円 工種：管理用道路工L=180m

当該堰堤は昭和12年度に災害砂防として長野県土木部が着工し、昭和15年に竣工したコンクリート重力式砂防堰堤であり、本堤の袖部にひび割れが見られる他、越流部では骨材の露出も認められ、今後堰堤としての効果が発揮できなくなるおそれがあります。このことから、砂防堰堤の更新を行い、砂防施設の効果及び機能を確保します。



## ⑨ 街路事業・道路改築事業（都）若宮線 千曲市 若宮

事業費：17.7億円 工種：道路築造工L=1,200m

都市計画道路若宮線（県道名：（主）長野上田線）は、戸倉上山田温泉のアクセス道路となっているが、当区間は幅員狭小で歩道も未整備のため、交通安全上大変危険な状況となっている。

本計画は、街路事業と道路改築事業により北側にバイパスを整備し、安全で安心な住環境を確保します。



## ⑩ 地域戦略推進型公共事業（一）内川姨捨停車場線

千曲市 長尾根

事業費：2.5億円 工種：道路築造工L=275m

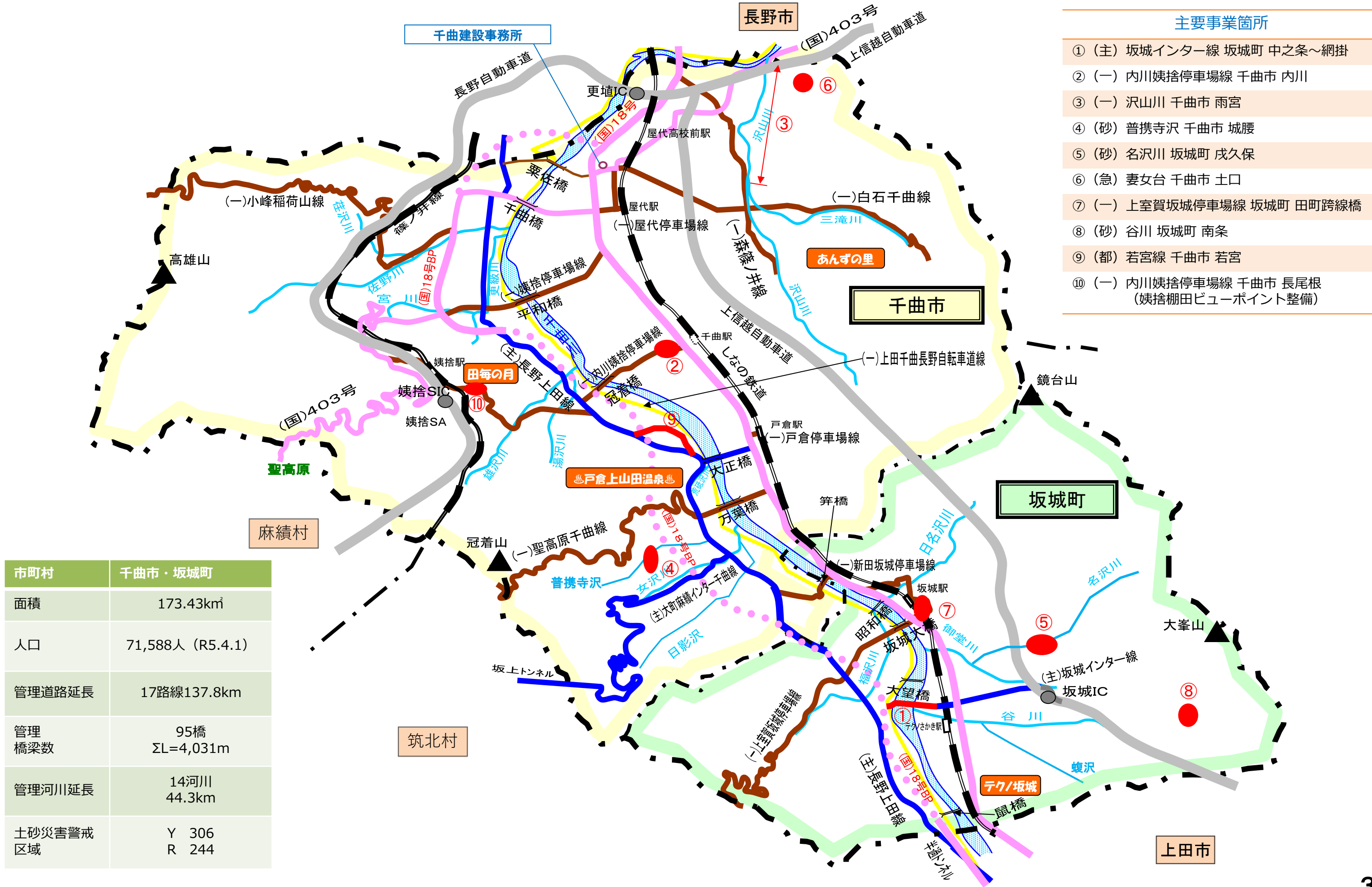
千曲川サイクリングロードを核として、関係団体との連携と協働により、「さらしなの里、戸倉上山田温泉をめぐる 賑わいのあるまちづくり」を行います。

千曲市長尾根では、県道の線形改良により走行の安全性を高めるとともに、旧道敷を活用して姨捨棚田のビューポイントを整備し、周遊観光資源の付加価値向上を図ります。





# 令和6年度 千曲建設事務所 主要事業 位置図





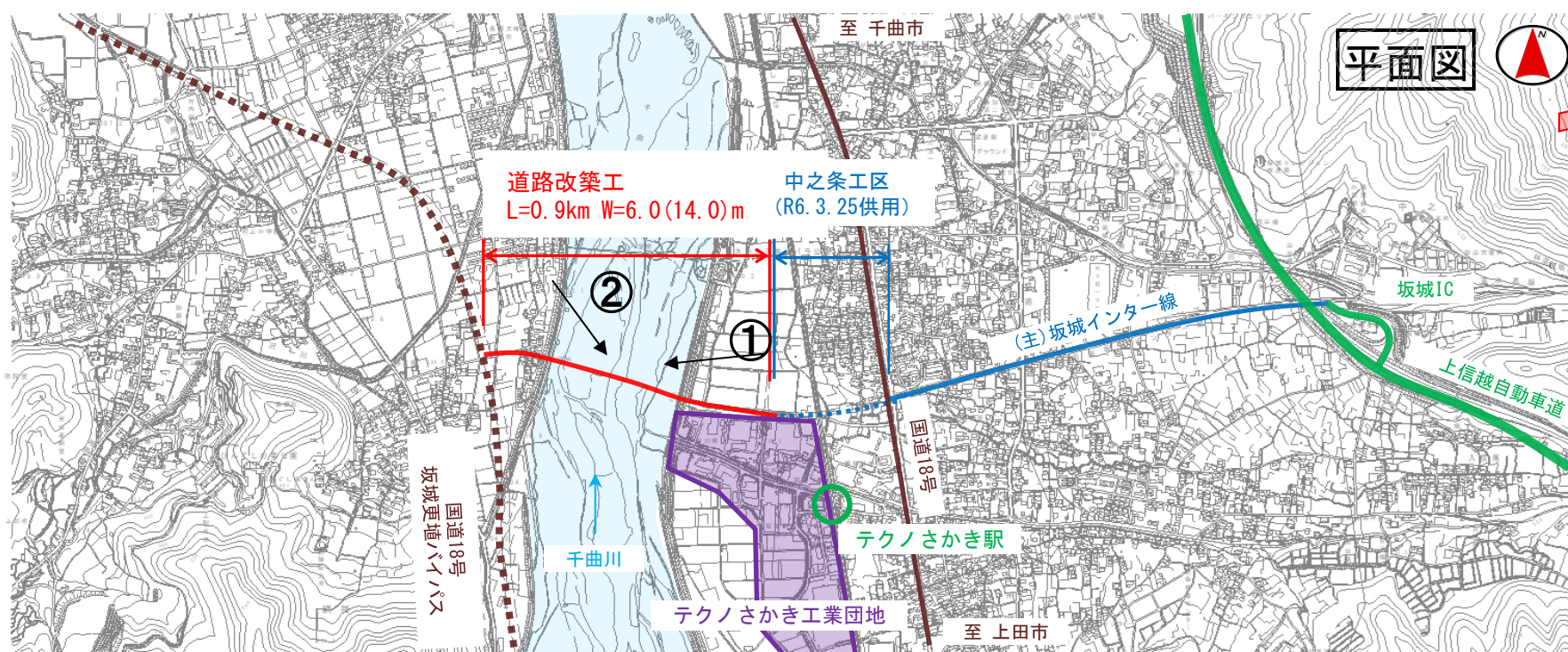
# 社会資本整備総合交付金(広域連携)事業 (県道坂城インター線 埴科郡坂城町 中之条～網掛)

千曲建設事務所

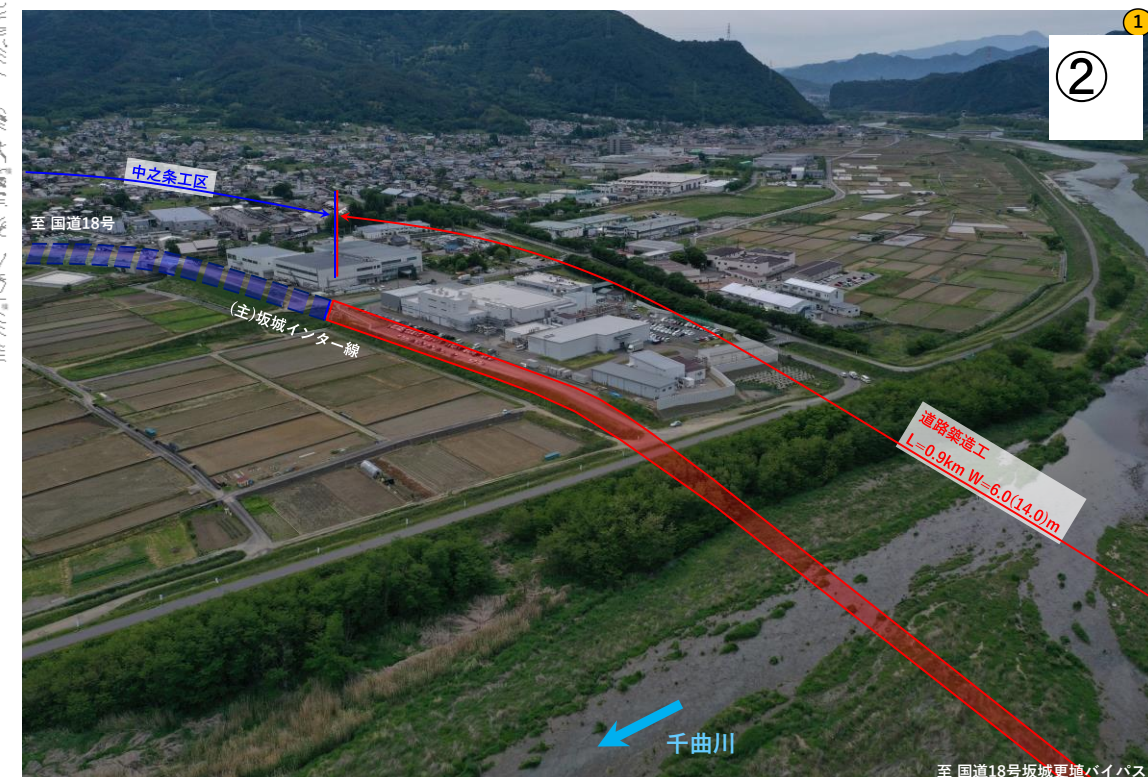
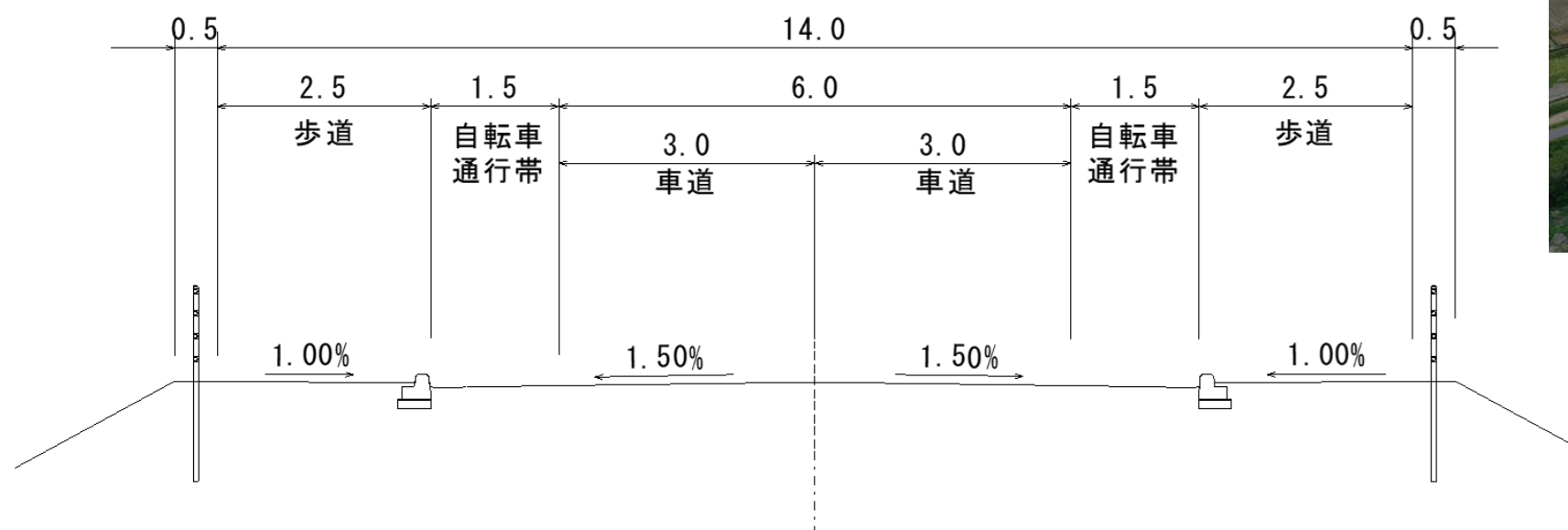
(主) 坂城インター線は、上信越自動車道坂城ICと国道18号を直結する主要な路線であり、国の重要物流道路及び県の緊急輸送路にも指定されている幹線道路です。

国道18号からテクノさかき工業団地までの約400m間は、令和6年3月25日に供用しましたが、国が建設を進めている(一)千曲川左岸(対岸)の国道18号坂城更埴バイパスまで延伸整備をすることで、物流拠点である工業団地へのアクセスルート構築、交通混雑の緩和及び観光産業の活性化に寄与します。

現況写真



標準横断面図



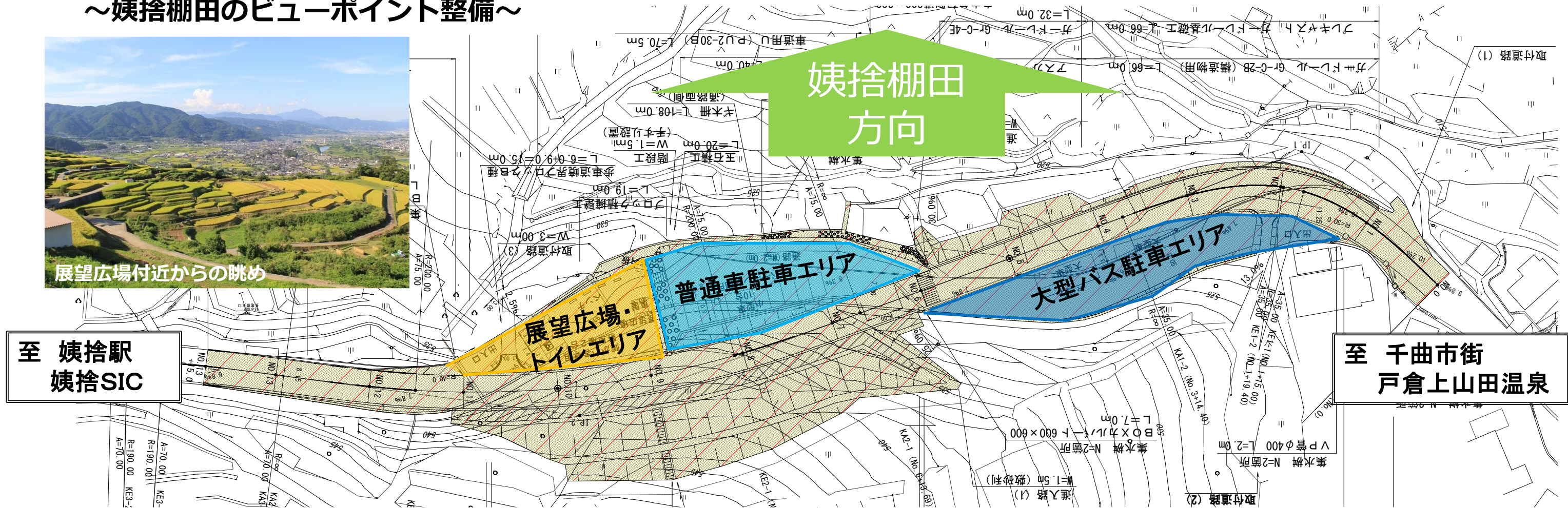


## 地域戦略推進型公共事業

～姨捨棚田のビューポイント整備～



展望広場付近からの眺め



### ○事業概要

- ・令和2年6月19日に千曲市は「月の都 千曲」として文化庁の日本遺産に認定された。
- ・『姨捨の棚田』は重要文化的景観や名勝に指定され、「日本の棚田百選」にも認定されている。
- ・棚田を訪れた観光客がビューポイントの場所が分からず、展望したり、休憩したりする場所が少ない。また、棚田保全に地元の農家を含めた6組織が取り組んでいるが、高齢化も進む中で、もっと外部から人を呼び込みことが課題となっている。
- ・本事業は、県道の線形改良により走行の安全性を高めるとともに、旧道敷を活用して姨捨棚田のビューポイントを整備し、周遊観光資源の付加価値向上を図ります。